

## 委員会報告

### ●親睦委員会 委員長 一色 かつみ

今年度のお誕生月のお祝はチョコレート菓子、配偶者のお誕生お祝は素敵なデザートです。また結婚月のお祝は、暖まって映える??〇〇〇(^\_^)です。

休会中は、当日ご自宅にお届けしております。お楽しみにお待ち下さいませ。

年が明けて、コロナも明けて、暖かくなりましたら、親睦行事を企画したいと思います。例えば、、近場の普段は行かないような所を巡ってみるとか。“ふくを呼ぶ”ふくろう寺とか。兵庫県内の、特に西播磨や但馬は仕事であちこち行きますが、まだまだ知らない素敵な所が沢山ありそうです。たつの市内で、兵庫五国の絶品を頂くのも良いかもしれません。

### ●会員増強委員会 委員長 崎野 圭子

皆様、ご無沙汰しております。コロナ禍中、いかがお過ごしでしょうか。

委員会活動について、1)候補者リストの最新版を作成し、2)エリアアドバイザーのお三方にご承認をいただき、3)『イザ!勧誘!!』というところでしたが、コロナ3波が到来してしまいました。感染拡大が収まり次第、会長幹事にもご一緒いただき具体的に勧誘を始める予定です。どうぞお力添え賜ります様お願い申し上げます。

委員会報告に替えまして、先週末のホッコリ体験をご報告させて下さい。

先週18日、『生誕130周年記念 堂本印象展』(明石市立文化博物館 12月19日～1月31日)内覧会に参加する機会を得ました。印象(1891-1975)の、古典・仏画等の伝統的で繊細な日本画から、戦後のヨーロッパ遊学を経て西洋美術を取り入れたモダンな抽象画まで、全く違う新しい表現に挑戦し続けた画業を、見事に紹介した展覧会でした。彼の類まれな熱情が、コロナ禍に苦しむ全人類へのエールであるかのごとく感じ、驚きと感動で胸が熱くなる土曜の午後でした。

翌日、西宮の県立芸術文化センター芸術監督、佐渡裕さん指揮のスーパーキッズ・オーケストラ演奏会がありました。弦楽器の振動が空気を伝ってきた瞬間、弦楽器の澄んだ艶のある音色に涙が溢れそうになりました。子供たちも、佐渡マエストロも、会場の観客も、私も、この一年一人残らず耐えに耐えている中での、至福のひとときでした。佐渡さんが『このコロナ禍で、指揮者になった時の初心に戻る事が出来た』とおっしゃいました。辛いコロナ禍ではありますが、人生を、自然を、命を、家族を、見つめる良い機会となっています。あの日から弦楽セレナードに癒される日々です。文化芸術は“心のビタミン”です。

一日も早く、以前のように皆様と昼食をとり歓談できますことを願ってやみません。

Happy Holidays and Happy New Year!

